

指導教員名	山川拓也
-------	------

活動区分	商品開発型	連携先	企業

～ (株)フェリーさんふらわあに対する企画提案(I-1グランプリ) ～

活動の様子



企画・活動概要

研究演習Ⅰ・卒業研究でのプロジェクトの一環としてI-1グランプリに参加し、3チームが企業への企画提案をおこなった。2021年10月初旬のプログラム開会式から始まり、10月下旬にフェリー乗船と現地視察を実施して一次提案の内容を練り、企業への中間プレゼン(11月中旬)からの修正を経て、12月下旬に提案内容の最終プレゼンを行った。

<提案企画>

- ・大分到着後のモデルコースおよびモデルコース内でのイベントの提案
- ・船内での新サービス(カフェ&バーの設置、クーポン券の発売、乗船プラン)の提案
- ・大学生に向けた新しい広告宣伝および乗船券販売の方法提案

経緯・背景・目的

I-1グランプリの正式名称は「神戸学生イノベーターズグランプリ」であり、本学が2009年から行うコンテスト型のPBLとして、協賛企業の課題を学生らしい視点・マーケティング手法を活用して解決・提案する企画である。今年度は、(株)フェリーさんふらわあの協力のもと、『若者向けのカジュアルクルーズの提案』に取り組んだ(本学・近隣の大学から35チーム・158名が参加)。本ゼミにおける取り組みの目的としては、2年後期より新しくゼミに配属された学生による初めてのPBLであったことから、観光マーケティングの魅力と社会人基礎力の重要性を体感させることにあった。



取り組む課題

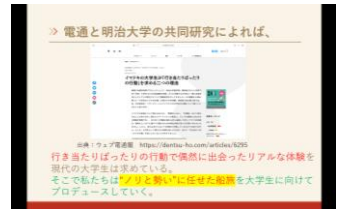
協賛企業から提示された課題のメインテーマは「若者向けカジュアルクルーズの提案」であり、それを踏まえた上で以下のサブテーマの中から取り組むテーマを決定した。

<サブテーマ>

- ①フェリー到着地での若者向け弾丸フェリーのモデルプランづくり(神戸・大阪・大分)
- ②さんふらわあ乗船記念になる新グッズ商品企画
- ③さんふらわあ船内での新サービス、及び船内イベント(例:星空教室、音楽イベント、ヨガ教室、など)提案
- ④阪神・九州間のモーダルシフトを促すための施策
- ⑤2022年就航・日本初のLNG旅客フェリーのプロモーション企画

本学(学生)の役割

協賛企業の課題を学生らしい視点・マーケティング手法を活用して解決・提案する。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

3チームの内、1チームが予選を突破して決勝プレゼンにまで進んだ。プロジェクト後の振り返りでは、「実現可能で独自性のある商品を企画するというマーケティングの過程においては、企画内容に気を使うだけでなく、社会人基礎力を身に付けておくことが如何に大切であるかを理解した。今回、優勝に届かなかったが、最終プレゼンで予選突破→決勝進出の結果を残せたことを自信に、更なる向上を目指したい」といった意見が学生より寄せられた。教員からみる成果としては、受身・従属・指示待ちから脱却といった「自主・自律」の芽生え、チームワークによる完遂力の涵養が一定程度あったと考える。



指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
観光学科
准教授
山川拓也(ヤマカワタクヤ)

<専門・担当科目等>
観光経済学、観光消費論、観光商品
マーケティング

<関係者・企業等>

株式会社フェリーさんふらわあ